

**歳暮陰陽催短景　天涯霜雪霽寒宵　五更鼓角聲悲壯　三峽星河影動搖。野哭千家聞戰伐
夷歌幾處起漁樵　臥龍躍馬終黃土　人事音書漫寂寥**

【読み】

**歳暮　陰陽　短景（たんけい）を催（もよお）す　天涯の霜雪　寒宵（かんしょう）に霽（は）る　五更の鼓角（こかく）
の聲（こえ）悲壯（ひそう）　三峽の星河　影　動搖（どうよう）す　野哭（やこく）千家（せんか）戰伐（せんば
つ）を聞き　夷歌（いか）幾處（いくしょ）か漁樵（ぎょしきょう）に起（おき）る　臥龍（がりゆう）躍馬（やくば）、終
(つい)に黃土（こうど）人事（じんじ）音書（いんしょ）漫（そぞ）ろに寂寥（せきりょう）**

【意味】

年暮れで、陰陽の運行は日差しを短くせきたて、天の涯（はて）なるこの町、霜雪が晴れ、寒い夜が広がる。
五更（夜明け前）、陣營の太鼓や角笛の音が悲壮に響き、三峡の空には、天の川がかかり、その影が水に揺れ
動いている。野には泣き叫ぶ声が満ち、千戸の人々が戦乱を聞き嘆き、異民族の歌が、あちこちで漁夫や樵
夫の間から起ころ。かつての臥龍（諸葛孔明）、躍馬の武将（公孫述）も、ついには黄土に帰し、人の世の消
息は途絶えて、ただむなしく寂しさばかりが漂っている。

*陰陽：日月の運行。四季の変化は陰陽の気の消長による。
*短景：短い日差し　*戰伐：戦乱　*躍馬：成都を本拠にした武将、公孫述のこと。
蜀漢の武将（劉備・关羽・張飛などの勇将）と解す説もある。
*人事：人の世のいとなみ　*音書：たより

【出典】閣夜（杜甫・盛唐）唐詩三百首　杜甫が戦時に寓居していた家（西閣）での過ごす夜

※歳末の三峡の寒夜に、戦乱の悲惨さと人々の苦しみを見つめつつ、かつての英雄（諸葛亮・公孫述ら）
すら黄土に帰したことを思い、人世の無常と寂しさを深く嘆いた詩です。